

サンセイランディック 関西便り Vol.72

平成30年4月号

サンセイ ニュース

新年度、入学、入社、昇級、転勤等々、何かと新しくスタートを切る4月です。各地でお花見シーズンを迎え、春本番といった今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。日に日に暖かくなり心地の良い季節ですが、スタートには様々な環境の変化や緊張が伴います。ぼかぼかした陽気の中でボーっともしてはいられませんね、気を引き締めていかねば！

近年、不動産業界でささやかれる「2019年問題」という言葉の意味をご存じでしょうか？日本は2008年の総人口1億2,809万9,000人をピークに、2010年から本格的な人口減少が始まりました。その一方で総世帯数は2010年から増え続けており（未婚・非婚率や離婚世帯の増加などが原因と考えられます）、住宅需要は維持されて、市場の縮小は抑えられてきました。しかし、その総世帯数が、2019年にピークアウトし、いよいよ減少を始めるというのです。国立社会保障・人口問題研究所が2013年に発表した「日本の世帯数の将来推計」によると、日本の世帯数は2019年に5,307万世帯でピークを迎えますが、その後は減少に転じ、2035年には4,956万世帯まで減るとされています。空き家が増え、不動産価値が下がるのは不動産投資・不動産業界にとって大きな問題となります。

本稿のテーマである「2019年問題」とは、世帯総数の減少で引き起こされる住宅不況、および空き家の増加や賃貸需要の減少などで、不動産業界や住宅価格に大きな影響を与える一連の問題を指します。

当社の事業でこの空き家の増加や賃貸需要の減少に対して、一石を投じることができるのではないかと考えているのが、「居付き物件の買取」です。サンセイランディックといえば「底地の買取」と思われる方も多いかと思いますが、収益性が低い、借入人の少ない老朽化したアパートなどが建っている土地と建物をそのまま買い取ります。借入人も少なく、利回りの悪いアパート経営で困っておられる方がいらっしゃいましたら、相談だけでもご連絡頂けたら幸いです。当社のノウハウを活用し、積極的に事業を展開させることで、ひいては「2019年問題」などの、さまざまな社会問題解決に貢献できることを願って、日々頑張っています。

社員の 独り言

私には今年の10月に4歳になる娘がいます。幼稚園に通い出したことで、たくさんの友達ができ、いろいろなものに興味を持つようになったこともあってか元気よく暴れまわっています。

子育てについては夫婦間でも些細なことでケンカになることも多々ありますが、子供の笑顔や仕草を見ていると自然とこちらも笑顔になり、気がつけば仲直りできています。

また、子供の姿から学ぶことも多々あります。赤ちゃんや幼児は主に食べて、寝て、泣いて、排泄するという4つのことだけをして生活しているように見えますが、その姿をよく観察してみると大人の私たちが年齢を重ねるごとに忘れてしまっている本能的な生き方を100%表現していて何事にも全力を注いでいます。大人が100%本能的に行動することはいろいろと難しいところがありますが、そういった姿勢を忘れず仕事でも遊びでもチャレンジし続けようと思います。



営業：中山



底地・居付き、買います。

株式会社サンセイランディック 関西支店
〒541-0046 大阪市中央区平野町3-6-1
あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル3階
TEL：06-4706-0040 FAX：06-4706-0045

底地くん

